

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

国語では「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること」や「語句の意味を正しく理解すること」について、正答率が全国平均を大きく上回っていました。今後も基礎的な知識を確実に身に付けることができるよう、指導を行っていききたいと思います。

数学では全16問のうち、全国の正答率を上回る問題が11問でした。特に9(1)の問いでは全国正答率よりかなり高い結果でした。この問題については、無解答率も全国と比較すると低い結果でした。

家庭学習の項目においては、肯定的な回答が67ポイントと高く、家庭での学習が定着してきていることが伺えます。2年生での学習をふまえて、現在の学習につなげようという意欲も結果から見えてきています。

課題と対応

国語では「話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えること」や「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと」について、正答率が低く、課題が見られました。今後の授業の中で、自分の思いや考えを表現する機会を積極的に設けていきます。

数学で、正答率の高い問題は「知識・理解」、「技能」を問われる問題であり、低いものは、記述式で数学的な見方、考え方を問われる問題でした。計算力だけではなく、論理的に説明できる力を付ける必要があると考えます。授業においてもじっくり問題に取り組む活動を行ったり、家庭でも時間をかけて課題に取り組むことを意識させたりしていききたいと思います。読書量が少ないことや、新聞を読む習慣があまりないので、読解力などを伸ばすという点で、今後、このような取組も進めていきます。

【保護者・学区の方へのお願い】

今回の調査結果から、自己を認め、目標をもって生活しようという意思をもった生徒が多く見られました。自分で決めたことをやり遂げようとする意欲が高まり、学習意欲の向上に結び付いています。また、人間関係を大切にしたいと考える生徒も多く見られます。家庭での学習時間は徐々に増えていますが、読書習慣が定着している生徒の割合が、やや少ない傾向にあります。携帯電話やスマートフォンなどの使用時間を見直し、書物や新聞に触れる時間も増やしてほしいと思います。よりよい生活習慣を維持し、それぞれの目標を実現できるように、ご家族での協力や声かけをよろしくお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	資料を読み取り、必要な情報を得ることができる。
	社会	安土桃山時代に関する内容を理解している。
	数学	ドットプロットを使って、中央値を求めることができる。
	理科	顕微鏡の使い方や倍率について理解している。
	英語	自分のことについて表現する英語を理解している。
	学習状況	読書を好み、その習慣が身に付いている。
第2学年	国語	ほとんどの項目で正答率が高かった。特に、伝えたい事項について、考えの根拠を明確にして書くことがよくできている。
	社会	全体的に社会的事象についての知識があり、理解している。
	数学	問題にあった比例式をつくることや、解くことができる。
	理科	火山の形とマグマのねばりけの関係を理解し、説明することができる。
	英語	英文を聞き、内容を理解することができる。
	学習状況	授業で話し合い活動や発表が盛んに行われ、授業内容をよく理解している。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。	国語では、新出漢字の間違えやすい部分を丁寧に説明したり、同音異義語や同訓異字の書き分けを正確にできるように指導したい。社会では、図表・グラフを書いたり読み取ったりする活動を取り入れたい。数学では、百分率の概念を復習させたい。理科では、日常生活と結びつける活動を取り入れたい。また、ICT機器を活用し、物体などを映し出し、どのような性質・原理があるか考える活動も取り入れたい。英語では、日本語との違いに気付かせるような活動を取り入れたい。学習状況では、家庭学習のための適切な分量、内容の課題を設定したい。
	社会	日本の食糧問題に関する内容を資料から読み取ることに課題がある。	
	数学	比較量と割合から、基準を求めることに課題がある。	
	理科	身の回りで利用されている物を推測することに課題がある。	
	英語	前置詞句を伴う複雑な文を理解することに課題がある。	
	学習状況	家庭学習の時間がやや短い状況にある。	
第2学年	国語	文脈に即して、漢字を正しく書くことに課題がある。	国語では、漢字の小テストに取り組んでいる。同訓異義語などが正しく使えるように強化したい。社会では、授業の最後に学習したことを自分の言葉で簡潔にまとめたり説明したりするようにしている。数学では、日常生活の場面と関連付けて、課題を提示することや、視覚的に動かせる教材を用いることによって理解を深めるようにする。理科では、目で見て確認できない分野については、概念を図で表すことによって理解を深めるようにしていく。英語では、英単語や英文のミニテストに取り組んでいる。また、スピーチなど自分の考えを書く活動を取り入れている。学習状況では、メディアコントロール週間の取組を通して、生徒たちが時間を有効に活用できる実感をもたせたい。
	社会	資料をもとに、まとめたり説明したりすることに課題がある。	
	数学	文字を使って数量を表すことや、図形の対称移動を答える問題に課題がある。	
	理科	力の働き方に関しての理解に課題がある。	
	英語	英語で表現したり単語を正しく書くことに課題がある。	
	学習状況	1日あたりテレビゲームをしている時間が長い状況が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

家庭での基本的な生活習慣（起床・就寝・朝食など）が整っている生徒は多くいますが、ゲーム等に費やす時間が長く、学習や読書の時間が短くなる傾向にあります。学習面では、基礎・基本の定着はできていますが、学習内容を応用的に活用する力（説明や表現など）を身に付けていくことが今後の課題です。宿題や課題をただ解くのではなく、なぜこの答えになるのか、自分たちの生活にどのように結び付いているのかを考えたり、学習内容を自分なりにまとめたりするなどして、応用力を身に付けてほしいと思います。このような力を付けるためにも、課題には丁寧に取り組むようご家庭でも声かけをお願いしたいと思います。